

令和二年度 山口大学入学者選抜学力試験 国語 解答・解答例

※一．この『解答・解答例』についての質問、照会には一切回答いたしません。

※二．『解答例』はあくまで解答を例示したものです。

一

問一 ①到底 ②せいきよ ③ひた ④びょうしょう ⑤絶 ⑥称 ⑦仰 ⑧あいせき ⑨えとく

問二 ㊦ウ ㊧エ ㊨イ ㊩ア

問三 エ

問四 空穂がいかなる流派にも属さなかったことは、精神が外部に向けて作りだした文学の歴史ではなく、精神を変幻極まりない作品として作りあげる精神の内側の働きという点から評価されるべきだから。

問五 一般的な権威のみならず自身を権威とすることにも無関心だった空穂の姿勢が、彼の自愛心の深さ、自己自身への関心に支えられていたということ。

問六 ア× イ○ ウ× エ× オ○

二

問一 a すぐに b ものさびしく c 月の光 d しだいに

問二 ㊦カ ㊧イ

問三 鷺(群)

問四 大江匡衡は、尾張の国に何の思い出もなく、故郷に帰ることになったであろうよ。この熱田の宮に大般若経を奉納することがなかったならば。

問五 月の光に頼る夜の旅は心細く、群れから離れた千鳥の姿に自身の姿を重ねあわせ、旅愁や孤独を感じている。

問六 杜若

問七 八橋で在原業平の杜若の歌を思い出した作者は、いまは杜若の代わりに生えている稲の葉の露を、業平の歌に感じた人々の涙の名残と見てとったから。

三

問一 ① しかず ② しからず

問二 組

問三 公息忌が組ひもを用いたがっている理由は、彼の家でたくさん組ひもを作っているからです。

問四 不_レ足_ニ以_レ累_ニ公息忌之説_一

問五 組ひもを用いて作ったよろいのほうが、実際により頑丈かどうか。